

第1章 ゆとり教育世代の子どもの文化

あつし塾長の

# 子のやる気 親の気づき

〇〇14



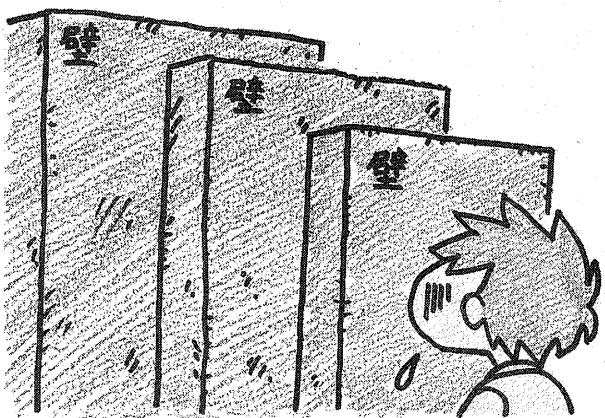
先週、今月入塾したばかりの中3男子のお母さまからの電話が入りました。「入ったばかりですが…返塾させてください」。あまりに唐突だったので「何かありましたか?」と私は事情を伺ってみました。「何か、自分でもやりたい勉強が見

つかったみたいで…」とおっしゃいました。確か入塾の際の三者面談では「この子のやりたいことをやらせてみたいんです」とおっしゃっていたのですが、その夜の教室で、返塾した男子の親友に「〇〇君が辞めたけど理由を知っているか?」と話してみます。すると「えっ、辞めたんですか!」と驚いていました。「親友なのに知らなかった

## 親友

は中身が面白かったというのでしょうが、それだけではなまなまです。まず、「1Q84」は村上春樹にとって、2004年以前の長編小説だったということがあると思います。ファンからすれば、待ちに待った大作だった

# 互いに野心家でいよう



by yoriko

## 多感な時期の経験が大切

「親友かも」と語調が弱くなりました。「明日、廊下呼び出し、なぜ辞めたのか聞いてみればどう?」気にならぬの?」と話したら「うーん、別に…」親友たたくさんいるし、友達みんな平らだし」友達がタイラと

の?」と続けてみると「だってクラスも部活も違うし、他のクラスに入っちゃだめなルーだし」と。そういう問題だろうかと思いつから、「親友じゃないの?」とさらに聞くと「親友かも」と語調が弱くなりました。「明日、廊下呼び出し、なぜ辞めたのか聞いてみればどう?」気にならぬの?」と話したら「うーん、別に…」親友たたくさんいるし、友達みんな平らだし」友達がタイラと

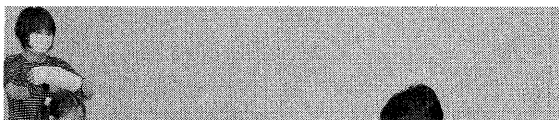
は? 考えてみれば、確か

しよう。しかし、支えを求めただけでは甘い。親友とは、互いに傷付け合い、許し合

いし、残りの半分がつけられて笑っていました。小中高と多感な時期に、子どもは本当に目の前の障壁の解決を望んでいるのでしょうか。親に話すだけでストレスの解決になることもあるのに、わが子がつまずいてはかわいそうと思う親の側の結論が早すぎて、経験を積み上げる機会を失っているのではないかと感じます。

(長) 畑山篤志学塾塾

## 親



不審者練習も1音羽

新1年生

登下校の手は気掛かりの解消へ、つを学んで京都内で聞のぞいた先月末、設に小学校子20組が集や保育所へてきた母頼に巻き込まか「ちゃいまで落ち差が漏れる。教室は、するステ

## 教育

# ニュース なぜなに

は中身が面白かったというのでしょうが、それだけではなまなまです。まず、「1Q84」は村上春樹にとって、2004年以前の長編小説だったということがあると思います。ファンからすれば、待ちに待った大作だった



学賞「エルサレム賞」を